

3の2 算数科学習指導案

5 / 30 (月) 5限
3の2教室 服部 美雪

1 単元名 大きい数の計算を考えよう

2 単元のねらい

3位数や4位数のたし算及ひき算の計算が確実にできる。

3 単元でめざす学ぶ楽しさ

これまで学んできた計算の仕方を利用して、図や言葉で説明したり、自分で計算をつくり、その過程を話し合ったりすることで、数のおもしろさに出会う楽しさ

計算の学習では、正確に求めることだけでなく、計算の仕方や意味について考えることが大切である。2年生までに学習したことをもとに、図や言葉で説明する活動を通して、図を数に置き換えて筆算を理解する。身に付けた技能を活用して、自分でおもしろい計算を作ること、計算練習の場になると同時に、計算技能の活用となると考えられる。計算をして答えを確かめるだけでなく、どのように考えてその計算をつくったか、どこに着目したかななどを話し合うことで、計算の仕方や意味をより具体化でき、数の見方を広げ、数のおもしろさに出会えると考えられる。

4 単元計画 (総時数 8時間)

主な活動と内容	学ぶ楽しさを味わうための手だて
1 3桁の数のたし算 (2時間) ○どうやって計算すればいいのかな? (3桁+3桁) ・2年生の時と同じようにやればいいよ。 ・一の位から順番に計算すればいいよ。 ○2回くりあがる時、どうする? ・2回くりあがってもやり方は同じ。	(1)算数のよさや美しさに気づく足場作り 十進位取り記数法の仕組みを意識し、図や言葉で説明できるように、既習を使えば解けそうな問題を設定する。
2 3桁の数のひき算 (3時間) ○どうやって計算すればいいのかな? ・百の位から繰り下げればいいよ。 ○十の位から繰り下げられない時どうする? ・1つつ繰り下げるよ。 ○0が3つ並ぶとどうすればいい? ・上の位から順番に繰り下げるといいよ。	(2)考えを洗練していく話し合い 繰り下がり仕組みを図や言葉が数につながる過程のおもしろさを実感させ、どの筆算でも使える求め方を見つけるために、自分と友達の考えを比較しながら、筆算と図を結びつけながらよりよいものを求めて話し合いを進める場を設定する。
3 4桁の数のたし算・ひき算 (1時間) ○4けたになっても計算できるかな? ・数が大きくなっても、やり方はかわらないね。	(3)学んだものを知恵にする場面 学んだものが身についたか試し、計算の仕方や意味を再認識するために、数字を変えたり、式を変えたりして自分で計算を作り、解く場を設定する。
4 おもしろ計算作り (2時間) 0～9の数を1回ずつ使って計算を作ろう。(本時) ○どんな計算になるかな? ・一の位から考えたらいいね。 ・繰り上がりや繰り下がりを考えないといけないね。 ○虫くい算はどこから考えたらいいのかな?	(2)考えを洗練していく話し合い 自分が見つけたきまりと友達の見つけたきまりから、計算をもう一度とらえ直すことができるように、「いつでも言えることはどれか」に焦点をあて、ペアや全体で話し合う場を設定する。